



## 岡山の存在感を全国に、売り出す年に！

### 東京一極集中を打破するため実力養成に努めよ

あけましておめでとうございます。猪の年。明確な目標を定めて突進をしましょう。岡山の飛躍が約束される年。県の礎になることを誓う。

#### 1. 観光立県“岡山”を目指そう

県民性があるとすれば、岡山人は自分たちの郷土や先達などの業績に無頓着かつ観光で飯を食べようとしない慎ましく鈍感な県民。岡山を売り込むのが苦手、いや下手なのではないか。観光は少ない投資で大きな見返りが期待できる事業なのだが。

おかやま武蔵倶楽部という集りがある。県外の支店長や営業所長などの転勤族が岡山に滞在中にいい思い出を作り、県外に転出した時に岡山を宣伝してもらうのが目的である。大変な盛り上がりで燃えている。

支店長さんたちが指摘してくれる岡山の感動した場所は、後樂園、国宝閑谷学校、西川緑道公園、鬼ノ城などで、素晴らしいという評価してくれるのだが、岡山人は「ああそう」という程度で、良さを感じない場合が多いようだから残念。

私は人生観が変わると前評判のよかったニュージーランドを旅してみても結局のところ岡山がやはり一番いいところであると感じた。だから、岡山を売り込むことに県民も行政等も

本年は本気で取り組むようにしましょう。支店長さんの中には観光事業に携わられている方も多いのだから、お知恵拝借で観光アピールのノウハウを教えてくださいとよいのではないかと。

ご当地ソングではないが岡山の観光試験も人気がある。もっと県民が積極的に地元の事を知るようにしましょう。長い歴史の間に業績を残された先輩も多い。先人らの人となりを知り先輩達を敬慕う心を養おう。

鹿児島県では明治維新を動かした先輩達を“先生”と呼び随分崇めていたのが印象的だった。同じ様な例は全国的に多いのだが、岡山人はどうもそういう気はないらしい。今からでも遅くはない、心の入れ替えを。

#### 2. キラリと光る郷土愛を

「適塾」と言っても知らない人が多い。高校の教科書には載っているが、岡山市足守（屋敷跡はある）の人であった“緒方洪庵”は、江戸末期に天然痘を村人に接種したことで知られている。医学に携わり大阪大学医学部の創始者の一人。私塾の「適塾」を大阪の船場に作り（現在も建物は残り、国の重要文化財）。福沢諭吉・大村益次郎・橋本左内など、日本の骨格をなした人を育成した。

僣越ながら、私は現在の若者を入

材育成する必要性を感じ、ちょうど弊社が、創業30周年を今春3月に迎えるのを機に私塾「平成適塾」を立ち上げることにした。専門職の養成を中心に広い視野に立った郷里を慕う岡山県人を育成し、岡山の発展に寄与できれば幸甚です。

東京一極集中やグローバル化はますます拍車がかかる。この時代の流れに逆らって地方都市岡山に小粒ながらもキラリと光る人材群が欲しい。必ずやITなどの進展に伴って、東京にいなくても地方で仕事ができる時代がくる。そのときに岡山が、燦然と光を放つようになればよいのである。

そのためには東京にお株を奪われるのではなく、地方が実力をつけて元気で頑張ることが必要である。そういう基礎を固める礎の年にしたい。私の考えに賛同して下さる人は御協力をよろしく。

仕事を東京などに求めなくても地元で立派な仕事師がいれば、優先的にまわすような心がけを地元の企業や行政は率先して取り入れてほしいと思う。どのような結末になるかは定かでないが、とにかく地方が元気になり実力をつけることが、最も近道で理想の目標に達することができると思う。いかがでしょうか…。

(18・12・19)

㈱馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
㈱まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

新しい年が始まりました。正月はいかが過ぎされ、楽しめましたでしょうか？皆様からいただいた年賀状により時代の流れが読み取れます。特に定年退職するという内容も多く、私が言っている人生における「起・承・転・結」の“転”の時にこれから入る人は思いを新たに充実させて欲しいものです。

私は年末年始、山陽新聞旅行社に応募して「北京・上海」に駆け足で回ってきました。現地の人でもあまりお目にかかれなような雪景色の万里の長城は別世界でした。

それにしても、旅の成否は現地ベテランガイドさんの実力に左右されるものだと今更再認識しました。今年はずねを巻いて愛する郷里岡山のために粉骨砕心の執筆活動に努力をしたいものです。乞うご期待を。



ばば・つとむの

# 平成つれづれ草

第100回

## 「平成適塾」構想に大きな同調の輪広がる 岡山の将来を夢見る人達が結集できる場を提供

爆弾低気圧が日本列島に押し寄せ、生ぬるい正月気分を吹っ飛ばして寒さが身にしみつつも新年になった喜びを味わった。

### 1. 真理を追究する姿勢

驚いた。私が郷里の大先輩「緒方洪庵」先生の「適塾」にあやかって「平成適塾」を立ち上げたいとアドバールンを打ち立てたところ、多数の人から応援メッセージを得ることができた。岡山を愛する人がいかに多いことかと我ながらビックリした。

真剣に若い者の育成の機会を作ろうと思ったのだが、先輩はじめ多くの知人から大きな反響を頂いた。どうも時代背景があるような気がする。景気が長期間成長過程を継続中というがバツとせず、アメリカ流経済導入で勝ち組・負け組を作り格差社会が深刻化。国民をおちよくった感じのする政治がまかり通ったなど、うっ積した閉塞されたエネルギーが充満してガス抜きの場を求めている。

さらに、教育再生ではないが、何とかしないと日本の国は危ないのではないかという素朴な心情が若者育成機関を作るのなら応援するという声になったのだと思う。

体は痛みが目立っても心は青春の若さがあれば若人である。こういう

人たちが集まって日本、いや岡山の将来を考え現状打破について議論するのはよいことだと思う。どういう形式でどのような運営をするかについては思案中である。同調してくださる皆様の意向も取り入れているいろいろ考えてみたい。

「走りながら」考えることにしようと思っている。近いうちにある程度具体的な運営策が提示できると思っている。岡山の将来を慮っている先輩諸兄に一役買ってもらおう。隠居なんかさせない。岡山で活躍している現役の人や支店長クラスの人など、県内在住の様々な分野の人を結集させる予定である。期待してください。

ありがたいのはお前がやるなら支援を惜しまないと言ってくれる人達がいてくれることです。「平成適塾」が必要とされる間は続けていく覚悟で取り掛かります。途中で頓挫はしないので皆様のご賛同とご協力をお願い申し上げます。

### 2. 冬の遍路道を行く

連休を利用して足摺岬を回って八十八箇所のお寺めぐりをした。流石(さすが)に寒いときは同行二人のお遍路さんは少ないが歩き遍路も散見される。四国遍路がブームになっていることもあってどこのお寺も見違

えるように寺院の整備が進んでいる。お金が潤沢にあるようである。別段うらやましいとは思わないが、ご朱印をしたためるときは心を込めて書いて欲しいという気持ちはある。

どのような山の上のお寺でも水洗便所に改築されているところが多い。それに反して岡山の社寺はトイレのみすぼらしいところが多い。名の知れた参拝者が多数お参りするところでもトイレなどの見劣りするところが多い。県民性に原因しているのかどうか分からぬが利益にならないところにはお金をかけないということらしい。しかし、清潔感のあるコンビニが繁盛することも参考になる。

ところで、椿は2月中旬から3月中旬が足摺地方の花暦だが、既に満開の木もある。早いものもあれば遅い木もある。人間それぞれの一生とよく似ている。早く世の中で目立つ人もあれば若いときに直向(ひたむ)きに努力して大器晩成する人もいるから、何ごとも様ではなく人それぞれ相違があって世の中は成り立っていることを再確認しただけでも収穫だった。

また、うっそうとした大木の森の中にあるお寺さんには悠久の歴史の重みを感じる。敬虔な気持ちになれるから不思議なものである。

(19・1・10)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

久しぶりにドライブした。ふと耳にしたラジオが1月14日京都で行われた都道府県対抗女子駅伝。天満屋・興除館高校・邑久中学の社会人・高校生・中学生からなるチーム編成。なんと準優勝の2位に入った。岡山女子の実力は全国トップクラスに成長していることがわかった。とにかくめでたく喜ばしくかつ夢と誇りを与えてくれた。

反面、岡山市から“商社”がほとんど引き上げてしまった。残念でならない。経済力をつけることが緊急の課題。岡山の地域力が生かされていない。大阪と広島に挟まれ埋没してしまったのか？岡山が中核になる中四国経済圏を形成しなければ、道州制の議論など「絵に描いた餅」だ。県知事や市長さんは政令指定都市誕生後を考慮に入れた地道な地方行政に強力なリーダーシップを発揮してほしい。



## 政令指定都市にふさわしいまちづくりを 総合かつ複合的な立体的構造の都市形成に努めよ

寒い日もあるが、やはり暖冬らしい。既に熊や蛇が冬眠からさめて姿を現しているとのこと。季節感がなんだかおかしい。人間様も殺人したあげく切り刻んだりするなど問題行動が多すぎる。困ったことだ。

### 1. 笑う人には福が来る

人相(顔)に興味を感じ気になりだした。「見た目が9割」とか。「男40歳になったら自分の顔に責任をもて」あるいは「オーラを感じる人」など様々な表現をされているが、顔は内面の気持ち(心)をよく表現しているようだ。従って心に相応して刻々と表情が変わるものである。

手相も変わるそうで一定はしていない。人それぞれの人生を反映して手の中のをしわも変わるらしい。確かに手相についてはなかった線ができたりあるいは伸びたりあった線がなくなったりするから面白い。

ところで、顔については職業により定型性のある雰囲気をもたせよう。例えば公務員や銀行マンは概ね一定の人相をしているから不思議。私はとりわけ大・中・小を問わず企業のトップに属する人たちの顔に興味がある。ある物知り博士曰く、若い時の苦勞が年をとって顔に現れる人と現れない人がいるとのこと。

立派な大きな企業を育てあげた人でも顔が俗に言うガメツイ感じの人もある。反面、穏やかで柔和な顔つきの企業人もいる。自分がどちらに属するかを考えることも大切かもしれない。どうも心の冷たい人はどんなにやさしい顔をしようとしても難しいらしく顔になる。

やはり心が顔に表れるというのは古今東西研究されてきたことであり、中国古典には「仁」「徳」があるかどうか顔の表情で説明されているようだ。現代にも当てはまりいずれの時代でも顔の評価は変わらないから人相学がめばえる。私は人の顔に興味深く観察するように心がけている。結構面白いものです。

### 2. “商社”が流出する岡山

岡山の顕在的な地域力を評価して岡山に進出する企業も多いのだが、逆に商社の多くが岡山支店をたたんでしまうのは残念というだけでは済まされない。岡山県や岡山市などの首長さんたちは深刻に受け止めて欲しいと思う。

なんとか岡山を地方都市でも存在感のある県にしようと日夜頑張っている地元民がいるのに反して、県や市は何をしたのだろうか?これという根本的な経済対策をしていないの

ではないかと思うがいかがですか。

ものづくりの製造業が岡山では元気なのは心強いが、やはり中心市街地が経済面でしっかりするためには金融機関と商社のような金融情報産業がしっかり根を下ろして基盤を固めていることである。その基幹産業の一環でもある商社が岡山から撤退している。残念というだけではすまないのである。ぬるま湯感覚で深刻さが欠如しているのではないかと。

岡山市は近いうちに政令指定都市になるのだから、そうなれば区役所もいる。公的医療機関もしっかりしていなければならないし、中心市街地がまちらしく繁華性に富むことが必要。各業種の支店がひしめくようであればなるまい。

総合的立場から公共施設の張り付き、繁華街のあり方などを立体的次元でまちづくりを設計しなければならない時にきている。合併に忙しく、政令指定都市になるのに手一杯でそれどころではないということかもしれないが、夢のある将来を見据えた全体像がほしい。

私たちをしてよくやっているとうならせるような試案をドンドン出して欲しい。もっと地道に基礎固めに精を出すべきだろう。積極的なプラン作りを要求したい。

(19・1・19)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

岡山の養鶏場で鳥インフルエンザが発生した。野鳥は元気なのに籠の鳥の鶏はなぜでしょうか?免疫力が極端に弱くなった証拠だろう。卵が安い物価の優等生なのは狭いゲージ内で一日中餌を食べさせられる人間様のご都合で運動しないということは卵を生む機械になっているからだと思う。防ぎようがないのが現実とは情けない。昔の日本の農村の自然環境に帰るのがよいのかもしれない。ワクチンの開発が急がれる。

岡南シネマ劇場で話題作の「バッテリー」を見た。野球のピッチャーとキャッチャーのバッテリーの意味で、車のそれではない。岡山の美しい田舎の自然環境がすばらしく若者の名演技と微妙な人間関係を考えるよい機会となった。

なお、岡山適塾(平成適塾)は、骨組みが固まりつつあり、もう少しで決めます。

その節はよろしくお願ひ申し上げます。



## おかやま「適塾」のつどいが誕生します!

### 元気な岡山を作るために、みんなで頑張ろう

地球温暖化が、問題になって久しい。具体的に何をしたらよいのか? 岡山の足としてクリーンな自転車に市民権を与え、交通の手段としよう。

#### おかやま「適塾」発会

人は同じようなことを考えるものだ。「平成適塾」を立ち上げることは前号等へ書いた。なんと「平成適塾」は商号登記済みであった。岡山にゆかりのある塾だから「おかやま適塾」とするのがふさわしいと変更した。

大阪大学後援会の適塾記念会という元締めに関わり合わせをしたところ、マスコミ等で「平成の適塾」という名称が使われていて、商標などの権利行使はしないのでどうぞご自由にご利用下さいとのことであった。

何もないところに絵を描くのですから頭を使いますが、強力な支援や応援団がいてくれるのは心強い。

#### おかやま「適塾」の内容

現在考えている骨組みは、第2と第4の火曜日の夜6時から9時まで「さん太ホール」で行う。初回は3月13日。お盆と年末は休むがそれ以外は必ず開演し、老若男女を問わず参加自由で、入場料として1000円をいただき経費に充てる。Oniビジョンに収録してもらい、ホームページ等

で動画を放映することなども考えているが、いつ実現するか?

内容は二部構成にし、一部は主催者がどなたかを指名し話してもらおう。二部は「主張したい人」が自由に発言する。ただ、宗教と個人攻撃は禁ずるが、それ以外は何を話しても責任は問わない。建設的なものは提言として関係筋に進言する。マスコミの取材も考慮に入れている。

塾頭(長)ら相当数の世話人が執行役を担う。また、参与(顧問・賛同者)として10名以上の人にお目付け役をお願いしたいと考えている。

以上が概ね大筋の進行方針であり、「地域とともに辻説法」という考えが設立理由である。月に2回のペースで必ず行いますので、手帳に日程を入れておいて欲しいと思います。

#### エース武富カントクを起用

初回は教育再生の問題提起の立場から、天満屋女子陸上部監督の武富豊氏に講演してもらい、続いて座談会に移行し、教育に情熱をもち現場の事情に詳しい人を囲み、自由に話してもらおうという趣向を考えている。

また、「私の主張」として誰かに手を上げてもらい自由闊達に話してもらおうという筋書きのストーリーを描いている。

#### 設立趣旨、意気込みなど

政令指定都市になるのは既定の方針。東京一極集中の潮流であっても、地方都市岡山がピカッと光り、侮れない対抗馬になることが目標である。利権のためや塾を利用しようとする雰囲気や芽生えたときは、解散しますのでご協力をお願いします。

世間では仕事が忙しいというわりには時間をもてあまし、ボーッとしている人が結構多いようにもお見受けいたしますから、他人様の話を聞くのも勉強になりますよ! もちろん本気で勉強したい人、何ごとにも興味のある人など来たれ! 必ず得るものがあるような企画にします。

講師陣は県内で活躍されている人を中心に地元の人、転勤族で岡山暮らしをしている人など幅広い分野から、郷里岡山と結びついている人を選択する方針。「私の主張」をしたい人は勇気を持って人前で話す練習をしたらよいと思う。地に着いた主張が、大きな輪となって世の中を変える原動力になるはずだからです。

「おかやま適塾」の立ち上げを期待して下さっている方々が多くいらっしゃるため元気をもらっています。それに応えることが私の使命と肝に銘じてカンパルだけです。

(19・2・7)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

2月中旬になりました。私が進めていた「おかやま適塾」は、大筋が決まりました。特に年度末で多忙な人は気分転換を兼ねて他人様の話を聞くのもよいことだと思います。未だ思案中のところもあり皆さんのいい知恵を取り入れて、さらによいものになりたいと考えています。お気軽に「おかやま適塾」に参加してください。岡山の各界を代表する人々に塾頭や参与、さらに世話役をお願いすることにしました。マスコミには積極的に記事を書いてもらい、広報に努めたいと考えています。私は岡山の発展を夢見て(変わり者と揶揄されても)へこたれず岡山をよくしたい一心でやりますので、ご協力を重々よろしく申し上げます。

札幌の雪祭りに行ってきました。またの機会に紀行文等を綴ります。物見遊山ではないことの立証も大切ですから。常に学び実践を心がけています。



## 窮すれば (変じて) 通ず

### 旭川市のあさひやま動物園に学ぶ

おかやま適塾は来る3月13日(火)に開塾できるはこびとなった。チラシも刷り上げた。予定を変更したところもあるが、多くのご支援を受け有難く、感謝しています。

#### 1. あさひやま動物園

岡山空港から新千歳空港まで約2時間弱。毎日1往復している。岡山から札幌まで半日というところ。さらに2時間余りの山里にあさひやま動物園はある。普通だったら地元の人でも寄り付かないような辺鄙な所なのだが、観光バスなど大変な人の波である。

雪が残る中、ホッキョクグマ・アザラシ・ペンギンなど、冬に強い動物は元気がよい。普通に飼っているだけなら別段旭川市まで行く必要はない。しかし、色々と工夫があり仕掛けがある。自然界に生きる動物の生態を多角的に観察できるように工夫しているところがミソ。

例えば、アザラシは水の中を勢いよく潜る様子がよくわかるし、ペンギンはユーモラスな姿勢で散歩にでかける。熊は大きな声で元気よくほえているのを上や横や下から見る事ができるようにしているあたりにアイデアがある。

また、アイデアがありそれを受け

入れた行政がある。職員が生き生きと働き、動物の行動を見てもらうような仕掛けを続けていること。さらに、地元の支えとマスコミをうまく利用活用したところに、成功の秘訣があると思う。

あさひやま動物園はジリ貧になり閉園していた時期もあるのだ。「窮すれば通ず」という。再生し成功するためにはワンクッションが必要。すなわち窮することにより変じたのである。変ずるとは、新しい変化を求めて脱皮したということで、変ずれば通じる。色々な面でこれは参考になる教えである。

「易経」に曰く、「窮すればすなわち変じ、変ずればすなわち通ず」と。名言なり。あさひやま動物園から学ぶべきものは多いと思う。

どこの地方公共団体でも公債費(膨大な借金)があって苦しいが、それを乗り越えるには職員の意識向上と願望それに対する投資、さらに継続を続ける意欲と地元の協力、さらにマスコミの後押しが必要と思われる。また、常に施設などの模様替え等に熱心のようなのである。

いずれの時期に行っても、面白さがありリピーターが支えているということだ。私も機会があれば何度でも行ってみたい気がする。

#### 2. 札幌雪祭り

雪像や構築物には目を見張るものがある。今年は暖かく雨が降ったため、せっかく作ったのに倒壊したものがあって、再築の意欲がなえて放置したところがあったのは淋しい。

雪がシャーベット状になっている世界は、岡山で生活している私にはあまり経験がない。零下5度ぐらいまでは普通は日常茶飯事である。体は慣れれば寒さはあまり感じられない。冷えてくれば耳が痛くなる。北海道経済は悪いらしいから観光客をなんとか受け入れるようにあの手この手を使っている。沖縄や京都なども観光客の受け入れに熱心である。

翻って岡山はどうであろうか? 行政が経済界任せでなく先頭を切って具体的に介入する必要があるようです。例えば、岡山にも国際会議場が欲しい。前々から主張してきたが、最近にわかには持ち上がってきた。大きな会議ができないので、少なくとも1,500人以上が入れるような会議場がいるということ。それも足の便のよいところに欲しい。

政令指定都市になる条件としては必要な施設であろう。具体的にどうするかを考えるとときがきたことだけは間違いない。

(19・2・21)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

おかやま適塾が3月13日(火)から本格的に始まります。講師陣は岡山で活躍されている方々を中心にリストアップしておりますが、講師の紹介をしていただければ日程調整などしてお願いするようになりたいと思っています。

今年は暖冬で雪不足のためスキー場は早々と店じまいというところがでています。雪が少ないと夏には水不足騒動も想定していなければなりません。余談ですが、札幌では雪の除雪費として数百億円かかるそうですが、解ければタダの水ですからこれほど無駄なお金はないと思います。しかし、それをあてにしている土木関係の業者の方にとっては死活問題です。世の中はうまく回転している面もあるということで、一方のみをみて議論するのは危険な面もありますね・・・。度々のお願いですが“おかやま適塾”を成功させたいのでご足労いただければ幸甚です。よろしくお願ひします。



## やれる。自信がついた“おかやま適塾”

### 陰日向なく支援してくれる人に報いたい

「寒の戻り」とかで寒い日が続いている。しかし、暑さ寒さも彼岸まで。もうすぐ桜の季節が来ますね。

#### 1. 仏像とご対面～

ストレス解消や癒しを求める方法は人によってさまざま違う。ある人はゴルフ、またある人は能や歌劇など千差万別だ。私は仏像を拜見するのが好きで、古いものに興味がある。“京の冬の旅”に駆け込みで参加した。終わりになって雪が舞ったので恰好がついたというところ。

ふと思うことだが、京都には知恩院という立派で広大な規模を誇る浄土宗の総本山がある。開祖は法然さんで岡山出身の方である。津山の方に向けて行くと久米南町に誕生寺という出身地のお寺さんがある。

どのような世界の分野においても立派な先人が多いのに、岡山県人気質といおうか、意外と知らない人が多いのは残念だ。ゆとり教育の一環として、岡山の著名人に関する本を作成して活用するようにすれば、郷土を愛し歴史を知ることができる。

私が“おかやま適塾”を開塾したのも、岡山出身の先輩にあやかりとういう思い入れがある。一口で言えば私の「道楽」とも言えるが…。真剣かつ真面目に取り組んでいますよ！

#### 2. 観光を考える

観光で飯を食べるということは、言うは易く大変なこと。観光はまず素材がないといけない。京都のように1000年にわたり“都”が存在した素地のある土地柄では、地元民の意気込みも大変なもの。ホテルは、金・土は満室に近い観光型である。

月曜日に美術館などが閉まるのは観光地としては考え直すべきことではないか。旅の日程を組むのが難しくなるからだ。見せるだけであるから開館すればよいと思う。

これから岡山も春のキャンペーンが始まる。一般県民にまで浸透していないきらいもあるから、もっとマスコミを活用した広報活動が必要。

岡山にはいい素材が多いのだから、これらを生かすための手腕をみせる努力が必要。熱き思いのたけを、観光客の呼び込みにどう生かし取り入れていく手段を考えるとよい。皆で良い知恵を出し合ってみよう。

#### 3. “おかやま適塾”の発展を

開塾には相当数の人が集まってくれて手ごたえもあった。マスコミ(新聞・テレビ等)で大きく取り上げてもらえたことや、oniビジョンが撮影してくれ当日の様子を定期的に流

すため、足が運べない人にも貴重な情報提供ができればと思う。

事務局を支えてくれる人員の確保や講師陣の調整、私の主張をしたい人の登用などに尽力し、最大の狙いである300席がいっぱいになる日を心待ちにしている。

多方面から応援してくれる人も多く、関係者一同さらに意欲を燃やしているので必ずや盛会になるものと信じている。初回に出席して下さった人はコア(核)となりリピーターとなってくれそうだから、仲間を数人ずつ呼んでくれたらと思う。

歴史通に言わせると人口減の時代が日本には歴史上3回あった。その都度文化が爛熟したそうだ。量より質の時代になるということだ。質の重視はおかやま適塾の視点の1つでもある。これから先を読んで営業(商売)をしようという人は、質を向上させる方針で物事を考えることが大切かもしれない。私もこの考えは正解だろうと思う。

短くて5年、長くて10年すれば落ち着いた日本になるような気もする。それは歴史のサイクルである。歴史は繰り返すのであるから、同じ失敗をしてはいけない。懸命に生きてきた先輩達の努力の成果に報いるべきであろう。“おかやま適塾”の本質はそこにある。(19・3・19)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

「分かっちゃいるけどやめられない」。誠に、人間の本心をついた流行語を残した。植木等さんが亡くなった。80歳とのことだ。そんな歳になっていたのかと思った。表の面が社会的に受けた人だったが、裏の本音の部分の本性はまじめで静かな人だったようだ。誰でも表裏がある。その振幅の大きな人の方が人間的魅力に富み面白い人とも言える。美空ひばり、渥美清、植木等など、時代を風靡した人が亡くなるのは淋しい。ふっと思う、日本には次世代を担う新しい若い人が育っているのだろうか？私は健康で悪いところなし。元気一杯で脂がのってきた。持ちこたえができますから、あと10年間は現役の一線で働きますよ！憎まれっ子世にはばかるとも申します。

平成19年3月28日 馬場 勉



## 必要十分条件を具備するよう努めよ！

### 岡山市の政令指定都市に向けて思うこと

桜が満開。暖かかったのに寒くなって思わせぶりの気候だったが、例年通り、桜は時を忘れず咲いた。やはり自然はすばらしい。

#### 1. 日本を縮図した新都市誕生

新潟市と浜松市が、4月1日より政令指定都市の仲間入りをした。人口規模約80万人余だが、市の面積は広いから、都心部もあれば野生動物等が生息する山里も含まれる。ところで岡山は70万人。ひとまず、必要な人口条件はクリアする。しかし、十分に経済・社会環境基盤などが整備されているかとなると、どうも心もとないような気がする。

例えば、岡山から主要“商社”5社が全て引き揚げた。大阪と広島の間谷間にあって、1時間余りで移動でき、ITや通信機器が発達して、時間と距離の格差が解消された。だとしたら、経費をかけて岡山に事務所を置くメリットが少なくなるのだ。出張で間に合う。商社の基本は情報産業だから、商社がいなくなり情報基地が存在しない政令指定都市などありえるのだろうか？私には疑問だ。

岡山には多くの病院があり、過剰気味だからいらないと主張する人もいる。しかし、事情通によれば医療の現場はどうも、そうでもないよう

だ。医師不足など厳しい医療環境は岡山の地にあっても進行中である。救急を扱っている病院はなおさらだ。

脳卒中など昼夜を問わない救急を全て断らない市民病院が底辺を支えてこそ、市民の安心・安全が得られていることを忘れてはならない。

こういう現実を把握した上で話を進めないと、病院の数が多から病気治療などはこと足りているという説明は、短絡過ぎて非常に危険だと思うが、いかがでしょうか？

経済面、環境・医療面などが充実して初めて政令指定都市としての風格が備わる。政令指定都市になるのは間違いない既定の事実であるが、まず足を地に着け基礎固めをしっかりする必要がある。岡山が東京のような経済力をつけるのは無理だが、そこそこの経済基盤は必要である。

また、住んで安心できる環境や医療の充実により365日24時間、安心・安全が確保され、老後も枕を高くして寝ることが出来る岡山市でなければならず、そういう質の高い十分条件を満たしたまちづくりを実現すべきである。

#### 2. 世代交代時期に思う

団塊の世代の定年退職が始まった。朝起きて背広を着ていざ出勤という

ときに「ああそうか〜、もう勤めに行かなくて良かったんだ」と我に返ったときの気持ちは、いかばかりだろうかと想像すると悲しくなる。

私は自営（自由）業のため、常に現役だ。徐々に若い資格者に代替わりでやってもらって仕事量の調整はしているが、働くのが嫌になったわけではなく、他にやらねばならないこと、あるいはやりたいことがあるので、重心が他の方へシフトしているだけのこと。年中無休の勤務体制であることに変わりない。外国に行っても携帯電話への転送で常に連絡出来るようにしている。

最近気づくことは、岡山の経済界においても2世・3世の時代へ権限委譲が顕著なことである。親しかった人が第一線から身を引き、息子に席を譲っている場合が目立つ。

まだ隠居の身になるには早い人は、貴重な人生の経験を活かして、是非、『おかやま適塾』に力を貸して欲しい。講師や聞き役で助けて欲しいと思う。

役所を退職した方々も同様に参画してもらえたら有難い。ホームページも立ち上がるし、Oniビジョンが放映もしてくれている。また、山陽新聞等にも随時記事が載っているので、ご活用と参加をお願いしたい。

(19・4・4)

㈱馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
㈱まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

「目に青葉」がしみる新緑の候となりました。年中で一番よい頃です。

ゴールデンウィークが始まります。いかがな計画を立てられていらっしゃるでしょうか？私は今日から1週間、姉妹縁組50周年を記念してサンノーゼに岡山市主催で300人余の大世帯の足手まどいになりますが参加します。写真を撮ってきます。

このレターの送付が遅れましたのは、私が塾長（代表世話役）をしています“おかやま適塾”の段取りなどに時間を食われたり職員の移動があったりで棚上げになっていました。連休明けからは心身ともにリフレッシュして再挑戦します。

お互いに連休はゆっくりして何か再発見に努めたいものです。先月、児島で“まちづくり”の話を見せてもらいました。一生懸命「ふるさと」を想って考えを巡らしている姿に感銘しました。どこの地域も同じですね。





## 「志」を高く熱い情熱を胸に挑戦、実行を! “ふるさと”を想う気持ちが地域を活性化へ導く

新緑が最も美しい時期。「目に青葉」といわれ、生きとし生けるものにとって最も萌える一番いい時。

### 1. 環境が人を変える

岡山市市民病院を退職し、他の病院に移った人と出会った。生き生きとして美しい顔立ちになっていたので、おやっと思った。はればれとした顔を見てほっとした。

やはり人は、職場や家庭など周囲の生活環境によって、良くもなり悪くもなる。「病は気から」と言われるが、真実をついている。本人は意識していなくても、周囲の諸環境がいつの間にかストレスになり体を蝕むのであろう。

お金のために嫌々仕事をせざるを得ない人もいるが、働きやすく楽しく明るい職場で、私生活が満たされるならば何事もはかどるであろう。そのようにしたいし、そうあるべきであろう。

まちで魂の抜けたような老人に出会うことがある。かつて権勢を欲しいままにしていた実力者のあの人…。しかし、年齢に関係なく一線で働いている人は、体に張りがあり顔も柔和な中に厳しさと自信が漂っているものである。やはり勤労意欲を失ってはいけない。病気になる寝たきり

になるのがオチである。

退役軍人(?)は、私が関わっている“おかやま適塾”に参加し社会との結びつきを続けて欲しい。岡山で活躍されている人を中心に、話をして頂くよう構成している。いい話を聞くとともに自らも話さないで損をしますよ!忙しく時間のない人こそ、積極的に参加して欲しい。

### 2. 有言実行をモットーに

これからは、総理をはじめ首長等のリーダーは、自分がやりたいことを国民に公約(約束)し、それに基づいて投票により選ばれるべきだ。ただ単に「お願いします」と連呼するだけでは物足りない。公約した以上は実現に向け行動する責任がある。

このことは、議員の先生諸氏だけでなく会社のリーダーやトップにおいても言えることである。株主や社員などへの社会的責務として必要なのである。

「不言実行」が良いとされた時代もあるが、これだけ世の中が複雑多様化し、国民の意識が高くなれば、うわべだけでは共感を得ることは難しくなった。「やります」と公言した以上は、スピードの速い時代だから短期間にやり遂げる。約束を達成するのが当たり前時代の来る。

岡山市議選で選挙公報が初めて発行されたが、具体的な公約を述べる人は少なかった。得票数は最低でも3000票以上ないと、市議会議員としての資格がないものと考えられる。すなわち2000票台の得票数で当選するようでは、議員活動に存在感が無いと思われてもやむをえない。

### 3. 「ふるさと再生」の志を

一極集中が進む中、小粒ながらきらりと光る地域がある。旭川市のあさひやま動物園、熊本県の黒川温泉、徳島県の上勝町の彩事業、滋賀県の黒壁などが成功例として知られている。いずれも志のある地元民が高い理想を持って挑戦し実現してきた。

そこには、周辺の人達の支援や応援を得るだけの迫力とほとばしる情熱があったのだ。そして、それに支えてやろうという気持ちと愛情が地域になくてはならない。

今、岡山市だけでなく各地で何とか我がまちを元気にしようという気運が盛り上がっていることは間違いない。郷土(ふるさと)を愛する気持ちから旗を掲げてまい進するリーダーが必要で、出現を待望する時が来ている。日本も見捨てたものではない。明日への希望と勇気を持って行動しようではありませんか!

(19・4・26)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

サンノゼとサンフランシスコに、岡山市が主催で300人の大世帯で行ってきました。『サン』とつくところは、スペイン人の影響が強いまち。中南米から北上したスペイン系の名残が残っている所です。

ケーブルカー、チンチン電車、電車、トロリーバス、バス、地下鉄、クルマ、自転車に至るまで乗り物は多様です。サンノゼ市内を24時間運行しているLRTの超低床電車もある。サンフランシスコは同性愛者が堂々とコロニーを作って市民生活していることでも有名。いわば個人の自由が保障されている地域である。日本で上司や家族さらに仲間達からいじめを受け、いやいや仕事をしている『あなた』よ!新天地を求めてサンフランシスコに行って他人の目を気にせず、誰からも干渉されずに自由な雰囲気人生を送るのもすばらしいことかも?一度の人生ですからクヨクヨ嫌な思いをしないで、おもしろおかしく楽しく愉快に生きてゆこうではありませんか。所詮は、気持ちの持ち方にあるようです。

平成19年5月10日 馬場 勉





## 過度の緊縮政策は職員のヤル気を削ぐ 費用対効果の追及と行政サービスの相克劇

サンノゼとサンフランシスコに旅した。同性愛者がコロニーを作っているサンフランシスコの自由な雰囲気社会は、規制の多い日本から見れば憧れの土地柄かも…。

### 1. 自転車専用道路を区分け

警察庁と国土交通省が、自転車専用ゾーンの整備指針を共同でまとめることになった。岡山市は、平野部が多く自転車も非常に多いのに邪魔者扱いされ自動車優先社会である。私は自転車専用道の整備を委員会などで主張し続けてきたが、ようやく実現する運びとなった。

人力で走るため環境に優しく手軽で便利なのであるが、歩道を走るため自転車がからむ交通事故が増えたことから抜本的対策にとりかかる必要が生じた。考えられる方策は、車道を削減して自転車専用道として分離すること。そうすれば車線削減により時間がかかるので、車の都心乗り入れが減少するという効果も期待できる。

自転車に市民権を与えて整備するのは当然。私は自転車派であるが、車ではなく自転車で行くと、駐車場は準備しているが駐輪場はなく、店の前に置くと移動させられる。わざわざ自転車で来てくれるお客は「客」

でないのかと言いたくなる。車社会の考え方を根本的に転換する時代が来ることは良いことである。

### 2. NHKスペシャル

5月14日夜のNHKスペシャルで、岡山市の行財政取り組みが放映された。“あなたの町は大丈夫？市民一人、借金百万円。どうなる市民サービス、財政ピンチ”という内容であった。

率直なところ、時間と金をかけて議論している内容としては、行政の一貫性や継続性、まちづくりの展望などの面から見て、さほど意味の無いものが多かった。こんな調子で事業仕分けを全部やるとすれば、膨大な時間と労力が必要で時間の浪費になる。

例えば、区画整理事業について全体像を示さなければ事業中止だというような話はおかしなこと。また政令市になるため合併の際に御津町と約束した事を、金がかかるから止めるという話も本末転倒の議論だ。さらに、三丁目劇場は金食い虫だから廃止しようというのも、利用方法を考えて地域活性化に役立てれば良いのではないかと。

出来る話と出来ない話を十分吟味してから事業仕分けの俎上に乗せて議論しないと、担当課を始め周辺の

みなさんに迷惑な話だと思う。

夕張市の財政破綻の件について岡山市が夕張のようになると脅しをかけていたが、そもそも夕張は炭鉱が栄えた町で、炭鉱地区ごとに陸の孤島のように独立し他と融合することなく単体の孤立した行政として残っているから、費用がかかるのである。幸い岡山市の場合、合併後は地域が融合しているので行政はやり易いのである。従って夕張と同様に議論することはできない。

さらに7000億円の借金があるからと緊縮財政を主張する。確かにムダは避けるべきであるが、行政は見返りが期待できない事業も多いのだ。費用対効果の点から収益が期待できないものはダメだという話にはならない。7000億円に見合う資産は残っているから、長期延べ払いにより元利償還できれば問題は無いのである。

いずれにせよ、職員に必要以上に夕張とか7000億円の借金だとか言うのと、萎縮して何もしないのが一番良いと考えるようになる。赤字になって責任を取れと言われたら困るため、職員は何もできなくなる。

楽しく愉快地に、生き生きとした市政になるように、職員が自主的に考える雰囲気づくりが大切である。

(19・5・16)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

5月は総会など会合の多い月です。『おかやま適塾』はようやく2ヶ月半程たち計6回分が終わりました。多い参加者のときもあれば少ない時もありますが、一喜一憂することなく“継続は力なり”の意気込みで地域(岡山)とともにガンバリたいと思って精進しています。とにかくいい話を聞きにおいで下さい。次回は6月12日(火)夜6時30分から廣栄堂の武田修一会長と夜8時から公明党県議の景山つぐあき氏の講演です。

先日のNHKスペシャルで風評被害が出ているとのこと。岡山の人はいずれに理解しているようですが、他県の人からみれば夕張になるような岡山市が政令都市になれるのだろうか?投資して大丈夫なのだろうかと思われているようです。確かに、会社は粉飾決算をしてでも会社が健全であることを装い倒産するというようなことは一切いいません。破綻すると言えば取引をしなくなるのは自明の理だからです。市長の本心と違う受け止め方をされるのは心外だろうと思いますが・・・。



## 「風評被害」減殺の必要が生じ残念に思う

### 思ってもみなかった、イヤな予感のする副産物

5月と6月は総会などで多忙な時期だが、しのぎやすい季節。草花が咲き競う時でもある。

#### 1. 日本人はいかに処すべきか

「俺は、君のためにこそ死ににいく」という映画が上映中。終戦間近、鹿児島県の知覧飛行場から飛び立つ特攻隊の心情を綴ったもの。食堂のお母さんと隊員との心の結びつきを横糸に、時代背景を縦糸に織り成す極限の生と死の物語。

敗れる戦争だと分かっているながら、なぜ志願兵として体当り出陣したのか、玉砕の道を選んだ真相は何だったのか、そのあたりの深層が知りたいところだ。一口で言えば、日本という国体を継続させ未来永劫のものとするため、自分を犠牲にしてでもお国のためにという純粋な気持ちからであったはずだ。

日本人のこういう精神構造を取り潰すことが戦勝国の最大の課題でもあった。そういう過程の末にできたのが現行の日本国憲法だが、憲法改正手続法案が成立した。これからは、一層議論を深めていって欲しい。

特攻隊員の心を心としてしっかり見つめ直して検討しなければならぬ。戦後60年以上が過ぎ、なまの戦争体験を話せる人は80歳以上になり

つつある。だんだん風化していく戦争体験をどうすれば若者に伝えられるのかを思う時、こういう映画をみるのも良い機会になる。

#### 2. 恐ろしい「風評被害」発生

岡山に嫁いできている人の話。東京の母から「NHKスペシャルを見た。岡山は財政難で困っているそうじゃないか。夕張のようになる所に住んでいて大丈夫か？東京に帰ってきた方が良いのでは…」と電話があったそうだ。こういう話は放映直後から話題に上っていた。

ほかにも「岡山は政令指定都市になれる資格があるのか」「そんな財政破綻寸前のところに民間投資して大丈夫か」「気軽に貸し出していた美術品もお金のない所は損害を賠償してくれないかもしれないので保険をしっかりと掛けてもらわないといけない」など、波紋は広がるだろう。

企業では粉飾決算をしてでも良好な財務諸表にしているところは多い。大手証券会社が粉飾決算をしたため外国ファンドに買収されたことは記憶に新しい。金融機関でも岡山市に貸す場合、高い金利を要求してくるだろう。思うに、市長としてはこういう諸影響が生じることは、考えも思いもよらなかったのが本心だろう。

むしろ、市長在職中に職員を減らし、借金も減らし、財務体質を良くした“名市長”だと言われると思えば、NHKは全国放送のため、県外の知るところになり格好の“時の話題”になった。プラスより、はるかにマイナス評価の方が多かったというのが厳しい現実である。リーダーは常に発言の重みを考えて公言するよう心掛けないと、思わぬ反発を食らうことになる。この度の件では、善後策を大いに考えてもらわないと困る。

私が、なぜこういうことを言うかといえば、選挙の時に「高谷さんはどんな人か知らないが、お前が推薦している人ならお前を信用して投票しよう」ということで投票してくれた人もいる。そういう人に対して申し開きが出来ないのでは困るからだ。

「風評被害」のもう一つは、岡山市市民病院である。榊原さんが大鉦(なた)を振って改革を行った。しかしながら、元の木阿弥となりつつある。ベテラン医師や看護師は辞めていく、患者は減っていく。どうなるか分からない状態が長い間続けば、モチベーション(意欲)が低下してやる気を失う。議論ばかりしているのは時間のムダ。民意を汲み取る作業より、リーダーシップの方が勝る。(19・5・28)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

嬉しいことに私が開設したホームページ『おかやま適塾』が毎日平均で30回線以上のアクセスがあります。たかが30回線かと思う人もいるかもしれませんが、かなりの数です。まだ6回しか開催されていませんが、これから口コミで輪が広がっていくことを期待しています。前回は書きましたが、6月12日(火)は(株)廣榮堂の武田修一会長と公明党の景山県議が登壇されます。ぜひおいで下さい。

例年通り、地価公示要覧を作成し配布しています。インターネットの活用が日常化してきたので取り止めるつもりでしたが、ぜひ欲しいとのリクエストがあり発刊することにしました。A4版88ページあります。私が云うのもおこがましいですが、結構、法務局情報も入っていて利用価値のある土地の価格冊子です。必要なお方には贈呈しますので御連絡下さい(FAX086-223-5839まで)。これから梅雨に入り紫陽花の咲き競う時候になりますが、お互い体には注意しましょう。



## 岡山の先人の遺業を顕彰し、広く周知を 県内の世界遺産への機運の高まりに呼応して

梅雨入りが遅い。雨に濡れた紫陽花でないとどうもさえない。雨が少ないため夏の水不足が気にかかる。

### 1. 年金を考える

5000万件の未処理の年金書類を一年間で処理すると断言した。何とでもいうのはタダであるが、私がいうのと総理大臣をはじめとする各々リーダーの発言では重みが違い、出来なかった場合は政治問題になる。責任を取るとしても首の付け替えで、本質的な問題解決にはならない。辞めればいいというものではない。

また、年金は申請主義。勤めた会社の管轄の社会保険事務所に申請人がみずから証明書を取り寄せねばならない。おかしい制度。同じ庁内だから、名前ですぐ分かるはずだと思っていたが、未処理分が膨大にあったためだった。腹が立つというより救われない。

年金でおかしいと思うのは、掛け金で積み立てている拠出型であるから受給年齢に達すれば、等しく応分の年金がもらえと思いきや、さにあらず収入が一定以上あれば支給しないあるいは減額するというのだ。要は、ぶらぶらしている方が楽で得だという怠け者を作る制度。しっかり稼いで収入を手に入れて下さい。

さらに、年金も支払います。しかし、合算して総合課税により累進課税のため高額の税金を支払ってもらいますよという方が、よっぽど理屈に合うし労働力の確保あるいは老人病の発生を減らすことが出来るのだ。所詮は、少子高齢化対策及び高齢者の医療費抑制にも役立つ。

高齢になっても、働いて高額の収入を得ている人に対する嫉妬があるらしいが、一定以上の収入のある者には年金を減額あるいは支給しないというのは間違っている。

従来 of 生活水準を維持するというのが年金の制度目的であるならば、全ての資産を洗い出して、生活する能力があれば支給しないという実質的な把握をしないと、月給のみを捉えて形式的に判断するのは弊害が大きい。老体に鞭打って働かないと生活ができない人もいれば、社会的存在感があるため世の中が働くように囑望している人もいるからだ。

金欲を持たせる方が病気にならないし労働力を補えるため、少子高齢化対応、かつ老人医療費の大幅削減に貢献する。総合的に考えて、受給年齢がくれば必ず国が年金を支払うという約束を年金手帳に書いておけば、未納者はぐっと少なくなる。若い時に納入してもらえないぞと脅

しまくるのが良くない。本質的かつ基本的な実質的公平・平等についての議論がなされなければならない。

### 2. 郷土の文化財と先輩

津田永忠顕彰会が中心になって、岡山県内の文化財を世界遺産に登録するためのシンポジウムと運動を始めることになった。財政がひっ迫しており、投資効果の少ない文化の類に投資はしないというのが行政の基本的な考えだろうが、伝統的な文化・芸術は長い歴史の中で受け継いできているものであり、次の世代に引き渡す義務がある。悠久の流れの中で捉えるべきで、お金だけで評価すべきものではない。

また、郷土出身の先達を岡山の人は軽んじて余り評価しない傾向が強い。しかし、先輩の偉業を掘り起こし誇りとして語り継ぐべきである。

例えば、大阪大学が売り出している「適塾」の緒方洪庵。国の重要文化財に指定されている「旧遷喬小学校」(真庭市)や岡山市の旧旭東幼稚園舎「八角園舎」を設計した江川三郎八。また、吉備中央町出身で庭園を手掛けた作庭家、重森三玲(みれい)は石組みで作成した知る人ぞ知る昭和を代表する偉人。京都の東福寺には立派な庭が残っている。

(19・6・13)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

梅雨に入っても雨が少ない。稲作に影響の出ているところもあるようだ。順調な天候のことを「五風十雨」という諺で表現されていますが、何事もバランスのとれた節度が一番いいようで、また大切なことでしょう。余り極端過ぎるのは困ります。

『おかやま適塾』を開催してまだ3ヶ月。いい話をして下さっているのももう少し多く参加者がいてくれたらと思います。もったいないなあ〜と考えます。先輩曰く、「みんな自分の生活や仕事が忙しくて余裕が無いのが現状なんだよ」「継続は力なり」だ。一喜一憂しないで社会に役立つ立派なことをしているのだから気長に」と励ましてくれます。やめることはありませんので、その点をご安心下さい。それにしても産・官・学・マスコミ等の皆さんが応援してくれて有難いことです。ガンバッテいるのだから肩入れをしてやろうという気運が高まりつつあることは嬉しい限りです。9月からは第2、第4の水曜日に開催日を変更します。念のため。



## 「おかやま適塾」から学んだ知恵と忍耐

### 体力・気力・知力の総合力が必要

今年も半分が終わった。7月に入る。中長期の天気予想は当てにならないから、危機管理意識が常に必要。

#### 1. 気力と健康を考える

先日の日曜日は雨だった。仕事が一段落し、ゆったりした気分が精神的に萎えた状態になったため、ほぼ一日中寝た状況。心身ともに、再度ビジネス社会へ復帰させるために、ネジを巻くものの、気合いが入らず元の生活に戻すのに時間を要した。

同じことが定年退職の人にも言えるのでは？一度会社や役所から離れると、再度やる気満々になるのは気持ちの上でかなり難しいかもしれない。再起不能とまでは言わないが…。

少し話しが飛躍するが、今の年金制度において最大の欠陥と思われる点は、働いて一定以上の月給があれば年金を支払わない、あるいは一部支給を減らすということ。抛出型のため理屈に合わず嫉妬心が先行するこの方針は改めるべきである。

人間は欲に弱い。定年退職後も働いて、稼げば稼ぐだけ小遣いが自由になり、さらに年金も貰えるということであれば働く。欲ボケは人間の性である。

苦勞して楽しくより、楽をするのが得策の年金制度であるから、働け

ば働くだけ年金が減るとなればブラブラした怠け者が生まれる。

少子高齢化が社会問題になっているが、出生が増えても大人になるまでには時間がかかる。その穴埋めにも元気な年寄りが働きやすい制度にしたい。気力が充実していれば病気の確率も低くなる。寝たきりが少ないことは有名な徳島県上勝町の「いろどり事業」で立証されている。

定年後、ヒマがあれば酒を飲みゴロゴロするから“わしも族”として女房に嫌われて熟年離婚の引き金にもなる。確かに働き過ぎて過労死ということもあるが、自分で調整すべきであろう。もし過労死するぐらい働いたのなら名誉なことだ。

考えてみよ！政治家や企業の社長達には元気な人が多い。その秘訣は、刺激が常にあるって責任感を持って働いているからである。高齢者から仕事を取り上げるのは良くないのだ。生きるためには働く意欲と気力の充実が大切であることは自明の理。

ヤル気を失わないように努めることも必要である。私が一時的にヤル気を失った経験からそう思った。私は「おかやま適塾」がものになるまで頑張らなければならない。皆さんにも協力してもらい、働くということの意味を考え直してみたい。

#### 2. ホームページに思う

情報手段が飛躍的に変化している。自分で操作して先端技術についていくことはかなり難しいから若い従業員に任せたい。

最近驚くことは、弊社やおかやま適塾のホームページにアクセスしてくれる人が多いことだ。「おかやま適塾」には毎日150件以上のアクセスがある。たかがその程度かと思う人は、一票一票の重みが分かっていない人だ。経験的にはすごい数である。

「おかやま適塾」は300席ある山陽新聞のさん太ホールで行っているが、4カ月目にして初めて満席になった、嬉しかった。

300人という数は大変な人数なのである。300人分の資料を作成するとなると、かなりの労力が必要なことからもわかる。出席者の人数で一喜一憂するなどいわれるが、主催者としては気になるものである。

いい話をとにかく聞きにおいで下さい。参考になり大変ためになる。来場して頂くようにするには、どうすればよいかと知恵を絞っている。継続は力なり。思い立ったら必ずやり抜く根性がある。私心がなく一生懸命やれば、人は評価してくれて助けてくれるものです。

(19・6・27)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

梅雨はジメジメ、シトシトという子供の頃の記憶が強いが、最近のそれは、男性的で集中豪雨化するようだ。地球の温暖化などとも相関関係があるのかもしれない。

不動産の証券化が進行している。Jリートあるいは私募ファンドのように水面下で活発に動いている不動産投資がある。すでに東京などから地方へ移動する傾向が見られ、その動きは加速化されるだろう。一般投資家保護の立場から金融庁の介入が強化される方針が打ち出されるとともに、不動産の証券化を前提に受託する鑑定業者は、専門分野に特化した不動産鑑定士のレベルアップが要求され、そのための対策としての専門講習を受ける必要がある。私は東京へ行って勉強しています。地元岡山が県外業者の草刈場にならず岡山の業者が中心になって岡山のことはやるべきだと思います。御協力をお願いします。



## おもしろ、おかしい岡山を目指そう

### 岡山のまちづくりは若者の発想から

梅雨明けは間近い。夏休みをとれる人は結構なこと。その余裕も無く無駄に動きまわらないようにしたいものだ。

#### 1. 信仰と修行

比叡山の延暦寺において僧侶の説法を拝聴。千日回峰行に関する興味のある話だった。1000日とはいっても975日で1000日満願とする。残りの25日はおまけではなく、満行しても、なおかつ、いつまでも修行をせよという意味があるそうだ。修行が終わって何がどう変わったのか。一般人からは大阿闍梨と崇められるのだが、修行僧は謙虚になり、周りが大きく見えて自分が小さいものを感じる。素直で誠実になるとのことである。

同じような話は、四国88ヶ所の歩き遍路をしている人の話でも自分が素直になれたとのこと。修行すれば自分がわかってきて、謙虚になり、周りの人が大きく見えるため、人の話を素直に聞くようになる。修行を続ければ手段・方法は違って相通じるものがあるということだ。

例えば、自然科学などを専攻する学者において同じことが言えるようだ。自然などを知れば知るほど、神秘的で奥が深く謙虚にならざるを得

ないらしい。

それにひきかえ、世の中には様々な人がいる。少し修行をされた方が良いのでは?と思う人もいる。オマエはどうなのかと言われれば返答に困りますが、嘘は言わないことだけは本当だ。嘘も方便と弁解するときもあるが…。だから、こうしたコラムを16年余り書かせて貰っているのだろう。全くとっていいぐらい文章の内容について非難されたことは無いです。皆さん優しい気持ちで受け入れて下さっているようです。

#### 2. 岡山を考える

県外から岡山に転勤で来られている人達の話では交通マナーが悪いとの小言が多い。無灯火、ウインカーを出すのが遅いなど、これらは警察官の取り締まりと免許更新のときに、よく理解をさせるように話すことだ。

また、自転車が危ないという話を聞く。岡山は平地だから自転車が得意にもかかわらず、自転車対策が遅れている。交通帯の分離がなされていないことも理由の一つ。交通体系の抜本的な見直しをすべきだろう。

気になるのは、軽四のからむ死亡事故が多いように思う。軽四は気軽に乗っているためか、感覚マヒをしているのでは…。軽四に対する安全

対策を重点的に行ってはどうか。

さて、岡山の人は小理屈の多い議論好きの人が多くようだ。私はその部類に属するのかもしれないが、とにかく、他県から来た人にとっては、刺激的であって勉強になるところのようだ。岡山人から見ればいい意味で結構なことではないかと思う。

転勤族にとっては、長い目で見れば岡山にいて人生の基礎体力ができ、学問体系が本物になる。勉強の大切さがわかる。いいことです。食べ物は旨いし、観光もできるし、申し分の無いお国柄です。

おもしろい岡山、楽しい岡山を目指そう。政令都市になれば、色々なことが附加されるのであろうが、若者にとってとにかく面白いまちにしなければならぬ。岡大の千葉学長によれば、学生は異口同音に岡山は面白くないとのたまうらしい。だから卒業後岡山に就職しないで、他県(東京や神戸)に出てゆく。岡山がおもしろ、おかしく魅力あるまちになるためにはどうすれば良いのか。

とにかく、若い者に任せてやらせたらどうか。アツく驚くようなこともあり得る。例えば、衰退した商店街やチボリ公園などについて若者の考えを聞き、尊重したらどうか。任せられた喜びで一生懸命にやりますよ。(19・7・12)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場 勉

梅雨が明けた。昨今の梅雨はどうもイメージが私の子供の頃と違うようだ。台風4号と重なり被害も出たようだが、一昔前から見れば極端に少ない。国土の強化が図られた証拠だ。公共事業は必要である。談合対策は別途解決すべきで、公共事業が悪いわけではない。

「姫の虎退治」というキャッチフレーズを最初に週刊誌で見た。上手い表現だと唸った。「姫」が選挙を本格的に進めたのは今年に入ってから。私が始めた「おかやま適塾」と時を同じくした。約半年程の戦い。一方の「虎」さんは、長い間、政界で御活躍され飛ぶ鳥を落とす勢いの重鎮です。テレビ出演の常連。常識的には2人は相撲にならないのだが、どうも追い風に乗って「姫」がガンバッテいるようなので、勝敗は混沌としている状況らしい。どうなるのでしょうか?

本格的な夏になります。体に気をつけて夏バテしないで盛夏を乗り越えましょう。夏の果物(桃、ブドウ、なんばきび等)が出回りますので楽しい時期でもあります。

平成19年7月23日 馬場 勉



## 政令指定都市への区割等に関する“私案”

### 仮に拙速であっても禍根を残さないように

天下分け目の参議院選挙。日本丸の舵取りはどうなるのか見もの。時期を忘れずセミが今年も鳴き始めた。

#### 1. 危機管理は大丈夫か

台風4号及び新潟県中越沖地震が日本列島を襲い、未だに後始末に注力している。

大型台風が2日間にわたり横断したが、一昔前を思えば被害は小さい。伊勢湾台風が記憶に新しい。大惨事だったが、それ以降国土の保全・防災のために国費が投下され、風水害に強い国づくりが形成された。

それゆえ、公共投資は必要なのである。談合の弊害が目立つため公共投資を減らす傾向が強い。しかし、談合は別の問題であって、談合があるから公共事業を減らすことにはならない。公共事業の減少は集落の崩壊、消滅につながり格差社会を生んだ。田舎に日銭がおちなくなった。長い目で見れば、生活支援対策の必要が生じるなど弊害の方が大きい。

田舎を守り格差社会を解消するには、政策を変えて地方交付金などを厚くして、若者が住み田舎の学校に行くようにしなければならない。

また、地震により部品を製造している一事業所が被害を受ければ、自動車の生産がストップするという信

じられないことも現実として起きている。効率化を追求して空前の高利益をあげたが、そこには在庫を持たず無駄が無い張り詰めた製造工程が垣間見えた。危ない綱渡りの日本のものづくりの一端を見せつけた。

リスクを分散化し、危機管理に努めるべきだ。さもなければ、一箇所の工場を破壊すれば日本経済を混乱させることができるということを白日のもとに曝け出した。日本の弱点が分かった諸外国のテロリストはそこに狙いをつけるからだ。

#### 2. 政令市の区割りを考える

いよいよ政令都市へ岡山市が本格的に動き出した。今後「いくつかの区に分けるか（線引き）」「区役所の位置決め（場所の決定）」をしなければならぬ。選挙に絡み住民の利害調整が生じ、一筋縄では行かない。

夏休み中の、限られた短い時間で決めることができるのかと疑問に考えるが、後悔先に立たずでよく議論していい結論を出して欲しい。スイスイと異議なしで決めては困る。

区役所は複合総合ビル化にすべきだ。区役所と岡山市市民病院の分院などの機能をあわせて持たせて欲しい。区役所の数だが、区単位で独立した条件下で市議員をそれぞれ選ぶの

だから、線引きは縄張り争いに火をつけることになる。

日本に馴染むのは中選挙区制だ。なぜなら色々な立場の人が選出されるようにするのが農耕民族の日本に適合すると思うからである。例えば、岡山県には岡山1区と2区の中選挙区であったものを5つの小選挙区にした。小選挙区制度は日本にはそぐわないといえる。

そこで、今回の区割りは岡山市を東区と西区、さらに岡山区（中央と北と南）に、若干の修正はあるだろうが3区に分けることだ。

例えば、東区は西大寺のカネボウ跡地に、1階はコンビニや銀行等のATM、戸籍の交付など、2階以上の中層部は市民病院の分院として24時間365日対応する救急医療機関を置いて市民の安全、安心を守る砦とする。さらにその上層部に区役所を置く。残りの岡山区には複数の候補地が考えられる。また西区には適当な場所が思い当たらないのだが…

区役所は、災害時の広域避難場所としても活用されるべきであるから、高層ビルにし多くの空き地を残した方がよい。住民意識を高め市民協働の事業と位置づけ、市民参加してもらうためにも建設費等を小口化した出資金や寄付を仰ぎ、それなりの恩典を与えたらどうか。（19・7・25）

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場勉

話題になった「姫の虎退治」の選挙も決着した。いろいろ言い分はあるだろうが、一般論として負けた原因をだれそのせいだとするようなことはしない方がよいと思う。すべては自業自得のなせる結果であり、不徳の致すところ。それだけ選挙は厳しいのであり、立候補する以上、どんな非難や困難が生じようとも甘んじて受ける覚悟がいる。それが無い以上、選挙には手を出さないこと。首長（県知事、市長等）を例にとれば、人事権と予算権を持ち、自分の意にそぐわないことは拒否して進めない（不作為等）ことができることを思えば、大きな権限を持っている。ましてや、国会ともなれば国民の生殺与奪の権限を持つ。自民党あるいは民主党というような次元の問題ではなく、国民の幸せのために、力を合わせて政治を行って欲しい。朝日高の江田五月先輩が参議院議長に就任。嬉しいことです。人生何が起こるか分からない。一寸先は闇なところに面白さがあるから頑張ることができるのだ。

まだ、暑い日が続きますので御自愛の程を。



## 背伸びせず分相応に！実力の養成を

### 岡山市の政令指定都市は無理ではないか？

9月に入り朝夕しのぎ易くなった。果物が成熟した。旬の時にしっかり食べて体力増進を。

#### 1. 大物になった証拠???

金の切れ目が縁の切れ目といわれ、男と女の関係の代名詞になっている。あんな男が総理大臣になるのはけしからんと女性が週刊誌に売り込んだことなど珍しくないが、男が楽しい思いをしてきた挙句、縁が切れたのを逆恨みにして週刊誌に売り込むのは珍しい。

男性の方は、私立高校で剣道を教えていた職員だった。女性は一躍全国に名が知れた参議院議員の姫井さん。男を見る目が無かったということだろう。激戦を勝ち抜いた女性である。一握りの女性になるには抜群の行動力とそれなりの魅力があった。

当選以前のことだし、別段法律に触れるようなことでもない。「カネと政治」の問題でもない。女性の品格を問題にするけれど、めそめそ言い訳がましいことを口にしないのがいい所。これからはしっかり勉強して国政に参画し、貢献することで汚名を跳ね返して欲しい。

平々凡々と一生を過ごすよりは、人生に幅があつていいと思う。姫井さんにはこれを機に当分の間、静か

に勉強されることを望む。逆境を活かし魅力的な女性になって欲しい。

#### 2. 冷静に！再考を

本当に岡山市が政令指定都市になる実力と資格があるのかと思う。まだまだ伴っていない。例えば、商社の支店が一つも無い。1つの区に約10億円かかるから、最小の3区にするというのが、6区で60億円の金の段取りができないようでは政令市になっても大丈夫か。また新卒者の採用を控え、夕張市のように破綻するかもしれないと市長が懸念しているような市が、本当にやっつけられるのかと正直なところ疑問を抱く。

岡山市行政区画等審議会が、夏休み返上で“ガンバッテ”試案を練り上げたことに対して深甚なる敬意を表す。県の市町村課長が「知事、市長、県議会、市議会の4者の賛成がないと政令市移行はあり得ない」また「政令市以降の市町村合併が行われる場合のことまで審議会は考慮していない」と説明している。要は、現在の状態を前提に区割案が考えられているに過ぎないのではないかと？

他市の先例は、どうでもよいのであって、岡山市の身の丈に合った条件を具備したものにすればよい。他人は他人、自分は自分なのである。

そんなに急いで何のために政令市を目指すのか説明するべきだろう。市民がこぞって政令市になるのを希望しているのか。経済力がまだ弱い田舎都市という印象を拭えないのが現状だから、時間をかけて実力、体力をつけてからでも遅くない。

私は3区を主張したが、それは中選挙区制が良いからであって、カネがかかるのであれば政令市にならなければよいだけのこと。不思議なのは3区が概ね23万余人の人口規模に“ムリヤリ”なっていることである。なぜ、ほぼ同数にしなければならないのか。将来、人口増の区もあれば減少する区、市町村合併なども生じるであろう。だから、人口比に基づく按分比例にして議員を割り振りできるようにすればよいのである。

無用の混乱を避けるため、現在の衆議院議員や県会議員の区割りを尊重して区割り作業をすれば、すでに制度としては安定かつ落ち着いているのだから問題ないはずである。

仮に、政令市にならなかったとしても「万事塞翁が馬」である。いつなんどきチャンスが到来するかもしれない。所詮は、何がよいかどうか分からない。時が来るのを待つ気持ちも必要だ。岡山の将来がかかっているからあせらず慎重に！

(19・9・6)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場勉

筆で書いたような秋の雲が、瀬戸内海の海上から美しい景色をなして見られた。ラッキーでした。少し暑かったがしのぎやすい初秋の晴れの本日。倉敷市児島下津井沖の島巡りを定員11人乗りのボートに5人乗船してグルグルしてきました。たとえば、何をして遊んでいるのかと思われるでしょうが、ちゃんと鑑定調査のために役所の人と仕事に精進してきたのです。潮が渦を巻き、潮風が吹いていた。

あまり海上から瀬戸内海の島々や周辺の船舶や建物さらに瀬戸大橋などを見る機会は無いので、非日常的で楽しくためになった。いくつになっても新規性のあるものに興味津々です。この好奇心がいつまでもこのコラムが書ける原動力になっているのです。常に勉強ですから。「知るを楽しむ」ために“おかやま適塾”において下さい。毎月第2、4水曜日です。詳細はホームページ(<http://okayamatekijuku.jp>)を見て下さい。講師陣は充実していますから。

「秋を楽しむ」ことのできる“心の余裕”が欲しいですね。





## 政権交代による新陳代謝が大切

### 国・県・市は温故知新の意気込みが必要

江戸東京博物館（両国）で文豪・夏目漱石展をみた。私の好きな作家。博物館の常設展も結構楽しかった。

#### 1. 岡山県債は、振られた！

先般、NHKテレビで放映していたシーン。県や市が発行する地方債に、全世界をまたに投資している外国投資銀行が、日本の地方債に興味を持って本格参入してきた。

岡山県は東京のホテルで、関係金融機関を集めて説明会を開いた。知事自ら行った。ところが、期待していた外国投資銀行は、岡山県債への融資を見送ったようだ。

ショックです。石井知事は、11年間の長期政権。主たる政治目標は、財政再建だった。しかるに、成果が評価されなかったのだから…。

国内で買ってくれる金融機関があると開き直ればそれまでだが、金利など条件が不利になるだろう。大阪市には長期低利の融資を行ったから、岡山県は格付けが大阪市のレベル以下だということの結果的には、客観的に評価されないことになった。残念だが仕方ない。

プレゼンテーションが十分でなかったのか。映像で説明するのがはやりの時代になっているものの、インパクトが薄かったのではないか。

少なくとも知事たるもの、堂々といかに財政健全化に努めてきたか。岡山県の将来像を力強く強烈な印象が残るように説得力のある話術で力説すべきだった。そうすれば将来性を買って投資しようという気持ちになったのではないか。

岡山県債を条件良く購入してもらうには商才もいる。本命と思われるところには足しげく訪問して、岡山において頂くようにする。

説明会も東京のホテルではなく岡山の後樂園の延養亭で行うとか、岡山のよさをアピールし、岡山に宿泊してもらって岡山を知ってもらう。

参加人数は少なくなっても、ひやかしは来ないから、本気の人が出てくれる。金額が大きいから、金利が少し下がれば、仮に経費がかかってもお釣りが出るのではないか。

苦言のついでに、倉敷チボリ公園問題だって、坂口正行社長の意向を十分に確かめた上で、倉敷市に打診するなどの手段を踏むべきだった。しかるに頭越しに公表するものだから、坂口社長から非難され「ご無理ごもつとも」と白旗を掲げるような対応になる。なんとも情けない。

道州制の話より、もっと足元を固めて欲しい。県民200万人の生命、財産を預かっているのだから…。

#### 2. 政治が変わるのはいいことだ

ネジレ現象、すなわち民主党が参議院で多勢を占めたため、自・公による好き放題は難しくなった。

かつては、総理大臣は何でもできた。できないのは、女を男に変えることぐらいで、絶対君主の立場にあった。しかし、現在では党首会議を申し込まないと政治が前に進まないという情けない状態。総理の権限は、大したことはなくなり、自分の思う通りに進まない。議会对策も大変だ。

反面、むしろ県知事や市長など、首長の権限の方が強い。地方分権の時代がくる。地方が自ら行政を行うところではなく、首長の独裁政治が到来する。恐いことである。

その原因を探れば、簡単なこと。議員がしっかりしていないからだ。国会は、与野党の力が均衡し、かつ議員が勉強しているから緊張感があり、野次が飛ぶなど活気が伴う。反面、地方議会は静かで野次らしい野次も飛ばない。ただ座っているだけ。

地方分権時代は、議会が勉強し活発になることの担保がなければ、首長の思うつぼにはまることになる。地方議員の意識改革が最も望まれる。

地方議員が、しっかりして首長の独走を食い止め、方向転換させ、反省させる必要がある。(19・10・31)

(株)馬場総合鑑定所(不動産鑑定士)  
(株)まちづくり総合研究所(都市プランナー)

馬場勉

地球温暖化の現象かどうかわからぬが、11月になっても寒くないためピリッとしなない。秋が深まれば、落葉樹は黄葉があざやかになるはずだが、過日ドライブしたところ、蒜山・大山地方の山々はもうひとつのようでした。

政界で「一寸先は闇」とはよく言ったもので、小沢一郎氏のドタバタ騒ぎには、やきもきしたが元の鞘に納まり「雨降って地固まる」となって欲しいものだ。ベテランの小沢さんでも巻き込まれたイヤな謀略的かつ陰湿な事件と言えるのではないか。

特に、密室での話し合いのため事実の一つだが、各々のマスコミ（新聞等）では“見る目”がまったく違う立場の主張が堂々とあった。情報操作に等しい露骨な事実無根のでっちあげと思われるものがまことしやかに書かれていた。世の中に男は「七人の敵」がいるといわれるが本当だ。つくづく世の中は恐ろしいと思った。足をすくわれない様に注意する必要がある。